

連続携行式腹膜灌流透析の教育プランの作成

人工透析外来 森 吉野山 神保 溝口

はじめに

CAPD (continuous ambulatory peritoneal dialysis) の略称で連続携行式腹膜灌流透析と訳される。以下CAPDと略)療法は、時間、場所、食事など血液透析と比べ制限が少なく、在宅医療であり、わが国でも、1992年末 登録患者は全国で7000人を越え、現在注目を浴びている透析療法のひとつである。

当院では、平成4年4月より、CAPD療法を開始し、平成5年11月現在27名の患者指導にあたっている。今回教育にあたり、CAPD療法導入前より退院までの、診療教育の流れを整理し、個別指導が十分出来るよう、CAPD教育プランを作成し、試作したのでここに報告する。

II 研究方法

- 1 開始時期：平成4年8月1日～
- 2 対象：血液透析導入患者のうちCAPD導入予定者及び、外来からのCAPD導入予定者8名。
- 3 方法：
 - 1) CAPD教育スケジュール表の作成(表1)
 - 2) CAPD教育のため評価表の作成
 - ①医療者側の患者評価表
 - ②身体的能力の評価表
 - ③①・②をもとにした総合評価表
 - ④評価チェック項目の作成(表2～5)
 - 3) 評価手順の作成
 - ①実施人数 4名以上(Dr、Ns、MEを含)
 - ②実施時期
 - ・CAPD導入前の透析を行っている時期
 - ・透析導入しない場合は、テンコフカテール挿入のopeを申し込んだ時点でCAPD系のNsが病室を訪室する。(Dr、Ns、病棟の受け持ちNsで4名以上)
 - ③医療者側の患者評価は、患者にかかわった医療者が、また身体的能力の評価は透析室の受け持ちNsが評価する。

④頻回にミーティングを行い、原則的にope日の2日前にシステムと教育プランを決定する。

4) 決定したシステムと教育プランをもとにCAPD教育スケジュール表を立案。

III 考察

CAPD教育スケジュール表を作成することにより誰が、いつ何を、指導してゆくか、大まかな概略がつかめ、指導がスムーズにゆくようになった。

CAPD教育のための評価表は、評価者の評価する時期(外来通院時、尿毒症が強い時、尿毒症が消失した時、テンコフカテール挿入間ぎわ時)により、患者の状態が変化してゆき、評価内容に相違がでてきた。そのため、CAPD段階的指導方法が、普通コースがじっくりコースになったり、逆に、じっくりコースが普通コースになるケースもあった。その為、患者評価は、テンコフカテール挿入前だけでなく、指導が、開始された後も、患者の状態をみて、再評価し、変更して行くことが必要であると考えられる。また指導者は、ミーティングを開き、方向性を統一していくことも必要である。

また今回CAPD教育のための評価表を作成し、評価することにより、CAPD適応か、不可かが、見分けられ、CAPD予定を断念し、血液透析になったケースも2例あった。

IV おわりに

CAPD教育プランを作成し、試作してから日が浅い為、参考とする資料がわずか8名と少なかったが、今後も教育プランを活用し、みなおしてゆく中で、限られた時間内に、より効果的な、個別指導が出来る教育プランにステップアップしてゆきたい。

最後に、この研究を行うにあたり、御協力頂いた方々に感謝します。

表 1 <CAPD 教育スケジュール>

		D r 指 示				HD	Care・指導(透析NS)
導入前							<速成コース>・手順マニュアルを熟読 ・デモスト練習 ・バック交換時の清潔不潔
	液 濃 度	注入量	貯 留	交換回数	処 置		
手術当日	ペトリック 135 or ダイアール 1.5	600ml or 500ml	0	1～2回 洗 浄	ガーゼ 交 換	×	
1日目					〃	○	指導なし
2日目					〃		HD室にてNsのバック交換を見学 業者への器材配送依頼書への記入
3日目					〃	○	HD室にてバック交換の練習・ノート記入
4日目					〃		
5日目	ペトリック 135 or ダイアール 1.5	1000ml	{ 9°～13° 13°～17° 17°～21° 4h毎	3回交換 21～9° Ⓢ	〃	○	事故と対策について(腹膜炎について) 体重測定について(条件) 血圧測定につ いて
6日目					〃		カテーテルケアの練習 (物品は前もって地下売店で購入) イソジンは処方
7日目					〃	○	
8日目					〃		
9日目					〃	○	
10日目					〃		
11日目	Drの指示に よる濃度	2000ml	例 { 7°～14° 14°～21° 21°～7°	1～2回 交 換	〃	最終 HD	
12日目					〃		在庫管理について 緊急時の対応につ いて 定期的フォローについて (電話連絡のしかた)
13日目					抜 糸		エボジン・インシュリン皮下注の練習 (家族への指導)
14日目を降 ↓ 退院日							抜糸が済んだら シャワー浴の指導 (病棟の浴室にて家族含) 退院日が決定したら栄養指導 自宅への搬送連絡

Dr	透析 Ns	病棟 Ns	訪問 Ns	栄養士	メーカー
<p><ope2~3日前> 透析Nsとミーティングしシステムを決定する <ope前日> コンディショニング記載し透析Nsに指示</p> <p><ope2日目> ガーゼ交換</p> <p><ope後7日目> 注射液 250ml 1本 処方(カテーテル用)</p> <p>※注意事項 病棟廻診中に、液濃度を変更した場合は、透析Nsに連絡</p> <p><ope後10~14日目> 抜糸</p> <p><最終HD時> ・球シ皮下注の指示 <退院1週間前~> ・在宅CAPD液とセット類</p> <p>処方 ・栄養士に連絡し指導日を決定する ・退院前の診察日を決定</p> <p><退院前診察前日> ・X-P(胸・腹部)指示 病棟でオーダー <退院前の診察日> ・診察・採血 透析室番Dr ・退院後の診察日決定</p>	<p><CAPD購入後から> ・CAPDシステム選考するための情報収集する</p> <p><ope2~3日前> ・Drとミーティングしシステムを決定する ・システムが決定したら病棟Nsとメーカーに連絡 <ope前日> ・コンディショニングをコピーし病棟へ送る ・opeに使用する物品を準備 <ope2日目> ・患者に器材配送依頼書を記載してもらい、メーカーに渡す ・HD室で指導開始 ・左記のCare・指導の覧参照</p>	<p><ope2~3日前> ・システム決定の連絡を受けたり、必要物品の準備、間に合わなかったらHD室へ連絡 <ope前日> ・CAPD液の保温</p> <p><ope当日> ・ope出し ・ope後(帰宅後)洗浄</p> <p><ope6日目貯留開始後> ・HD室で指導以外の交換時バグ交換(指導経路連絡表に従う)</p> <p><ope後1週間頃> ・処方された注射液を患者に渡す(カテーテル用)</p> <p><最終HD時> ・球シ皮下注の指示を受ける</p> <p><退院前> ・透析Nsよりシャワー浴指導の連絡があったら予約をとる</p> <p><退院前診察前日> ・X-P(胸・腹部)の指示を受け、患者にとってきてもらう</p> <p><退院前の診察日> ・前日撮影したX-P、朝排便したバグとDrカルテIDを持参しHD室へ</p> <p><退院日> ・必要物品を持ち帰っているかの確認</p>	<p><退院1週間前> ・連絡を受けた後HD室で指導を見学</p>	<p><退院1週間前> ・Drより栄養指導の指示を受ける <栄養指導></p> <p><配送日> Pt自宅へCAPD液とセット類、加温器を配送する</p>	<p><ope2~3日前> ・システムの決定の連絡を受ける</p> <p><ope後7日目> 器材配送依頼書を受け取る</p>

表2

CAPD教育のための評価表

2. 身体的能力の評価
(年 月 日)

<1> 麻痺 有無 _____

<2> 視力程度 右 _____ 左 _____
網膜症 _____
眼底出血 _____

<3> 聴力 右 _____ 左 _____
補聴器使用有無 _____

<4> 握力 右 _____ 左 _____

<5> 手指の感覚 しびれ 有 無 _____
程度 _____

<6> 体力の評価 弱 普通 強 _____
(貧血 血圧の変化 倦怠感 疲労感 程度)

東京医科大学

表3

CAPD教育のための評価表

1 医療者側の患者評価

患者名 _____ 殿 記入者 _____
(年 月 日)

<1> 理解力
3(非常にあり) 2(普通) 1(少ない) 0(全く)

理由 (_____)

<2> 意欲
3(非常にあり) 2(普通) 1(少ない) 0(全く)

理由 (_____)

<3> 透析を受容する
3(完全に受容) 2(部分的に受容) 1(ほとんど受容しない) 0(全く受容しない)

理由 (_____)

* 理由欄は、患者とコミュニケーションして、その病状に事とをそのま
記入して下さい。(以後、評価フォーム項目作成時に修正します)

表4

CAPD教育のための総合評価表

患者名 _____ 殿 男 女 _____

最終学歴 _____
職業 _____
性格 (性格テスト分類) _____

趣味 _____

1 医療者側の評価 _____

2. 身体的評価
mMFSキースケール(表)

<三> 結果

① システム → _____

② 教育プラン → _____

東京医科大学

表5

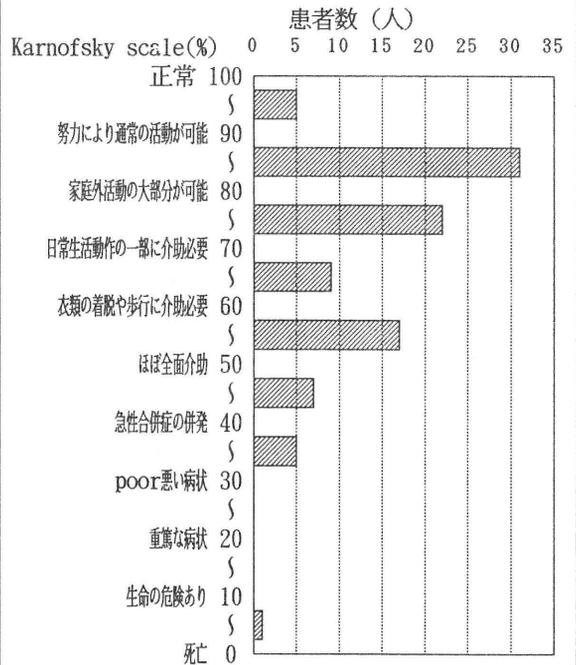


図2 糖尿病透析患者の身体活動度；
Karnofsky scaleによる評価

CAPDの段階的指導方法（じっくりコース）

透析日は原則として指導はしない

	血液透析	CAPDマニュアル熟読	デモスト練習	バック交換・清潔・不潔	管理ノート記入	バック交換（NS並け台）	カテーテルケア	入浴指導	退院にむけて指導	栄養指導
Ope前	/	○								
Ope当日	/									
1	/	○	見学							
2	/		見学							
3	/	○	見学							
4	/		○	○	○					
5	/	○	見学	○	○					
6	/		○	○	○					
7	/	○	見学	○	○					
8	/		○	○						
9	/	○	○							
10	/					○				
11	/					○				
12	/					○				
13	/					○	○		○	
14	/					指導者がOKを出すまで	○	退院のめどがついてから	○	退院のめどがついてから

CAPDの段階的指導方法（普通コース）

	血液透析	CAPDマニュアル熟読	デモスト練習	バック交換・清潔・不潔	管理ノート記入	バック交換（NS並け台）	カテーテルケア	入浴指導	退院にむけて指導	栄養指導
Ope当日	/									
1	/	○	○							
2	/		○	○	○					
3	/	○	○	○	○					
4	/		○	○	○					
5	/	○	○	○	○					
6	/					○				
7	/	○				○				
8	/					○			○	
9	/	○				○			○	
10	/					○ 以後1人立ち	○		○	
11	/	○					○		○	
12	/						○			
13	/									
14	/							○		○
15	/									

CAPDの段階的指導方法（速成コース）

		血液透析	CAPDマニ ュアル 熟 練	デモスト 練習	バック交換・ 灌漑・不潔	管理ノート 記入	バック交換 (NS以外)	カテーテル ケア	入浴指導	退院にむ けて指導	栄養指導	
Op日	/											
1	/	○	○									
2	/		○	○	○	○						
3	/	○		○	○	○						
4	/			○	○	○	○					
5	/	○					○			○		
6	/						○ 以後1人立ち			○		
7	/	○								○		
8	/									○		
9	/	○						○				
10	/							○				
11	/	○							○		○	
12	/											
13	/											
14	/											
15	/											